



議会だよりはこのQRコードからご覧いただけます。



伊根保育園の園児たち

12月定例会

■ 議長新年の挨拶	2	■ 政策提言書	7
■ 令和7年度一般会計補正予算	3	■ 町政を問う 一般質問 (3人が質問)	8
■ その他の議案	4	■ 玉手箱	10
■ 委員会報告・議員と語ろう	6	■ 編集後記	10

新年あけまして おめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては、それぞれの感慨や抱負を胸に新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より議会への深いご理解と、議会活動への温かいご支援・ご協力に対し、議員一同、厚く御礼を申し上げます。

さて、現在の我々を取り巻く環境は、不安定な世界情勢、気候変動により記録的な猛暑日の増加、米価格をはじめとする物価高など、一層厳しさを増しており先行きの不透明感が払しょくできない状況となっております。

町内にあっても、小学校の再編、診療所の統合、伊根地区のオーバーツーリズムなど、課題や重要な問題を多く抱えております。

そうした中で、本町では宮津高校伊根分校跡地に待望の食料品小売施設（仮称）ゴダイドラッグ伊根店の建設工事

も行われ、4月オープンに向け着々と事業が進んでおります。オープン後は本施設が大いに利用され、未永く施設が維持されるよう期待いたします。

伊根町議会といたしましたしても、議員一同、町民の皆様がどのようなことを感じ、何を求めているのかを意識し、町民の声を、町はもちろん国や府などにも届けるべく、努めて参ります。

結びにあたり、新しい年が皆様にとって、幸多き一年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

伊根町議長

佐戸仁志



令和7年 第4回定例会

令和7年第4回定例会は12月3日から18日までの日程で開催され、諸般の報告、専決処分等の報告2件、令和7年度補正予算11件、条例制定・一部改正3件、契約2件、人事1件、その他1件について審議されました。

予 算

令和7年度第4回補正予算

歳入歳出予算総額に2億9,186万6千円を追加し、40億3,024万6千円とする。

(全員賛成で可決)

【主な補正予算の内容】

○有害鳥獣駆除委託金

3,489千円



増加している鹿

○漁業経営開始支援補助金

1,164千円

○本庄上急傾斜地崩壊対策事業

2,000千円



安全が確保される急傾斜

令和7年度介護保険 特別会計第1回補正予算

事業勘定の歳入歳出予算総額に1,569万7千円を追加し、4億8,908万7千円とする。

(全員賛成で可決)

令和7年度後期高齢者医療 特別会計第2回補正予算

歳入歳出予算総額に300万6千円を追加し、4,965万6千円とする。

(全員賛成で可決)

令和7年度簡易水道事業会計 第2回補正予算

府道弥栄本庄線拡幅工事に伴う水道本管仮移設費と水産飲雑用水に係る工事費増額による補正。

(全員賛成で可決)

令和7年度下水道事業会計 第1回補正予算

下水道受益者分担金の収入見込み額増加による基金積立金の増額補正。

(全員賛成で可決)

条 例

伊根町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

【提案理由】

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、児童福祉法が改正されたことに伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める。

(全員賛成で可決)

伊根町町税条例の一部改正について

【提案理由】

地方税法及び地方税法の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴う必要な改正。

(全員賛成で可決)

令和7年度伊根漁港海岸保全施設整備工事請負契約の変更について

【提案理由】

入札残額を活用して増工し、事業進捗を図る。

(全員賛成で可決)



洗掘防止の為の海岸保全

人 事

固定資産評価審査委員会委員の選任について

令和7年12月22日で現職の固定資産評価審査委員会委員が任期満了となるため。

古板利成氏の再任について議会の同意を求めるもの。
(全員賛成で同意)

そ の 他

伊根町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

【提案理由】

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく本町の過疎地域持続的発展市町村計画の計画期間が本年度末となっていることから、これを5年間延長し令和13年3月31日までを計画期間とする。
(全員賛成で可決)

伊根町職員の給与に関する条例等の一部改正について

【提案理由】

令和7年人事院勧告に従って給与改定を行うため、一般職、特別職、任期付職員の給与・報酬関係の3つの条例を改正。
(全員賛成で可決)

令和7年度一般会計第5回補正予算

歳入歳出予算総額に2億6,719万8千円を追加し、40億9,744万4千円とする。

国の「強い経済」を実現する

総合経済対策」に基づき、生活の安全保障・物価高への対応として、地方公共団体が行う物価高対策に「重点支援地方交付金」が配分されたための補正。(予算交付残額約41%相当)
(全員賛成で可決)
【主な補正予算の内容】
○地域振興券発行事業
37,895千円
住民1人当たり2万円分の振興券を1月末に配布。



昨年度の伊根町地域振興券



対象店舗はこちら



振興券の詳細はこちら

質 疑

地域振興券の第2弾とデジタルシステム改修について

問 第2弾の振興券は、3月補正予算で対応するのか。それとも専決処分等で対応するのか。

答 第2弾予算は「3月補正予算」で計上予定。

問 第2弾で新たに導入するデジタルシステムの規模・内容とシステム開発にかかる費用概算は。

答 これまでの地域振興券は全7回とも紙ベース発行し、予算決から1〜2ヶ月要していた。デジタル振興券導入による発行の即時性向上、使用店舗の換金手続き簡素化の効果を想定し、地域内で資金が循環する仕組みの構築ができないか検討している。

また、観光まちづくり共生基金を活用し、振興券・回数券・地域ポイント等を一括運用できないかを検討し、イニシャル、ランニング両コストを勘案し検討中。

問 地域内通貨の仕組み構築は大賛成。コストが一定かかることは承知のうえで、今後のためにも前

向きに取り組んでほしい。
答 交付金残額の範囲内で事業化を検討したい。

○物価高対応子育て応援手当支給事業 4,629千円

児童手当の支給対象児童を養育する父母等に対し、児童一人当たり2万円を支給。

○人事院勧告に準拠した給与改定

令和7年度 国民健康保険 特別会計第3回補正予算

事業業勘定の歳入歳出予算総額に、47万2千円を追加し、3億9,082万8千円とする。

伊根診療所勘定の歳入歳出予算総額に、94万5千円を追加し、1億1,962万3千円とする。

本庄診療所勘定の歳入歳出予算総額から、246万2千円を減額し、7,209万8千円とする。
(全員賛成で可決)

令和7年度 伊根町介護保険 特別会計第2回補正予算

保険事業勘定の歳入歳出予算総額から、21万3千円を減額し、

4億8,887万4千円とする。

介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額に、86万4千円を追加し、226万4千円とする。
(全員賛成で可決)

令和7年度 伊根町訪問看護 事業特別会計第1回補正予算

歳入歳出予算総額に、591万4千円を追加し、2,623万4千円とする。
(全員賛成で可決)

令和7年度 伊根町簡易水道 事業会計第3回補正予算

収益的支出に43万6千円を追加し、収益的支出総額を9,036万8千円とする。
(全員賛成で可決)

令和7年度 伊根町下水道 事業会計第2回補正予算

収益的支出に14万4千円を追加し、収益的支出総額を1億4,11万5千円とする。
(全員賛成で可決)

令和7年度 亀島本庄浜線法面 防災工事(本庄浜工区)変更請負契約の締結について

【提案理由】

形状や数量の変更による増額により、議決が必要となったもの。
(全員賛成で可決)



完成した防災工事

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准されることを求める。
(賛成多数で可決)

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出についての賛成討論

賛 成 討 論

ジェンダー平等は持続可能な社会の基盤であり、女性差別撤廃条約の実効性を高めるため、選択議定書の批准は不可欠である。個人通報制度や調査制度は女性の人権を守る国際標準で、世界では多くの国が批准している。全国で多数の地方議会が意見書を採択し、京都府内でも27市町村中22議会が賛同している。女性が能力を発揮できる社会づくりは地域の活性化にもつながる。本町議会としても国に早期批准を求め明確な意思を示すべきである。

委員会報告

総務委員会

- **令和7年10月29日**
・今後の取り組みについて協議した。
- **令和7年12月3日**
・政策提言書について協議した。
・伊根町地域防災計画の質問事項について協議した。
- **令和7年12月18日**
・伊根町地域防災計画の質問事項について担当者より説明を受けた。

産業建設委員会

- **令和7年10月31日**
・政策提言書について協議。
- **令和7年12月3日**
・政策提言書について、次年度委員会審査事項について協議。
- **令和7年12月18日**
・政策提言書提出（観光振興対策について、クマ対策の強化について）。

議会活性化特別委員会

議員報告会から議員と語ろうに名前や内容を変更して2年目となりました。
今回の“議員と語ろう”もテーマを設定せずに10月14日、10月21日に開催しました。

4 地区で実施

開催場所	日にち	参加人数
伊根地区（福祉センター）	10月14日	3名
朝妻地区（朝妻地区コミュニティセンター）	10月14日	5名
本庄地区（本庄地区コミュニティセンター）	10月21日	8名
筒川地区（滝根公民館）	10月21日	4名

今回参加いただきました皆様の意見、要望など

	問題・要望	議員回答
伊根町小学校再編計画	・どのような経緯があり決定したのか？	「R5伊根町小学校教育の在り方検討会」、「R6より豊かな学びが実現できる学校施設審議会」を実施し意見の集約した結果。
オーバーツリズム	・住民の生活に多大な影響があるが、町としての対策は？	連休中の一方通行などを実施しているが、抜本的な対策が必要と感じている。交通対策に加え、住民生活に多大な影響があることも承知しており、継続して対策を要望します。
桜ヶ丘運動公園	・伊根の杜は2時間無料で使用できるが、桜ヶ丘運動公園は使用料を1時間単位で徴収される。犬の散歩やキャッチボールを無償でしているのを見かけることもあり不公平感を感じる。	無償で使用する人、有償で使用する人に分かれていることは不公平感があります。管理者として使用料を徴収するのであれば管理上は柵で覆うなどの対策が必要と感じる。町への要望を検討します。

問題、課題、疑問などはいつでもお伺いしますのでよろしくお願いいたします。

伊根町長 吉本秀樹 様

令和7年度 政策提言書

令和7年12月18日

伊根町議会

議長 佐戸 仁志

はじめに

平素は町政の発展に全力で取り組んでいただいております。心から感謝申し上げますとともに、町議会に対しましても格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本町議会は多様化・細分化する町民ニーズを汲み取り、行政施策に反映させていくべきとして活動を展開してきました。

本年も、各常任委員会活動を充実させ、政策提言を行うべく委員会を開催し、現状と課題について検討を重ねてきました。

その結果、産業建設委員会の立場で協議・検討を行い、今後の施策への取り組み要望を提言としてまとめました。

本提言が、今後の本町の行政施策推進の一端に資するよう次のとおり要望します。

1 観光振興対策について

課 題

町内の観光客の動向はコロナ禍の終息後、急激に入り込み客が増加し、ゴミの問題、交通渋滞の問題、住宅のプライバシーの問題等課題が顕在化し、住民の不安の増大、軋轢の増加が懸念されており、今後は住民負担の少ない伊根町ならではの観光振興が求められています。

また、観光客の増加とともに、観光関連施設や受け入れ体制整備のための町財政の支出も増加しており、町財政運用上も検討が必要となっています。

提 言

- ① 町内観光の満足度向上と住民負担軽減のため、町整備駐車場の更なる料金見直しを検討し、増収分を観光とまちづくり共生基金に積み立て、まちづくりと観光振興に活用することを提案します。
- ② 料金見直しにあたっては、町民と観光客のすみ分けを図り、町民の負担が増加しない料金システムを検討するとともに、基金の活用状況について広く広報することを要望します。

2 クマ対策の強化について

課 題

近年、全国的にクマの出没が相次ぎ、人里での被害が深刻化しています。

伊根町においても、子どもたちの安全・安心を守るため、以下の対策を早急を実施すべきと考え、提言いたします。

提 言

- ① 町有施設の対応マニュアル作成
学校、保育園など、子どもたちが利用する施設でのクマ出没時の対応マニュアルの作成をされたい。
- ② 電気柵等の設置
学校や保育園の周囲に電気柵を設置するなど、物理的な侵入防止対策の整備をされたい。
- ③ 追い払い活動への支援拡充
現在、集落や農事組合等に限られている追い払い活動への経費支援を、より迅速かつ柔軟な対応を可能にするため、個人への支援拡充をされたい。
- ④ 集落内柿の木の伐採への支援制度の創設
集落内へのクマの出没を減す用に、管理されていない柿の木や不要な柿の木の伐採を進めるため、支援制度を創設されたい。
- ⑤ 山際の緩衝帯の設置整備
集落内への進入予防対策として緩衝帯を設置・整備されたい。

以上

町政を問う

3人の議員が一般質問

一般質問の
動画配信を行っています。



国保税均等割の助成を

A 次年度より18歳未満全額免除する

問 国保税均等割は一人一人に課税されるため世帯人数が多いほど国保税が高くなり、生まれてすぐの赤ちゃんにも税がかかる。当町で子育て世代物価高騰支援として助成が実施できないか町長の見解を伺う。

答 伊根町は、子育て支援日本一を自負している。来年度、令和8年度から、18



予防接種を受けている幼児

水田畦畔管理の支援を
問 当町のような中山間地



大谷 功 議員

域では水田一枚一枚の面積が小さく、畦畔が多くなる傾向にあり、草刈りに非常に手間がかかる。特に難儀なのは、熱中症など危険が伴う真夏の草刈り。病害虫や獣害対策、景観保全を考えると省くことができない必要不可欠の作業。農業の根幹にかかわる問題として、早急に畦畔管理の支援が必要。

そこで認定農業者、法人等が水田畦畔の草刈りを地域住民や、外部委託した場合、1時間あたり1,500円程度の草刈り費用を補助する制度を提案する。

この制度は、単なる作業補助という枠にとどまらず、地域住民との協働を通じた農業コミュニティの再構築や、外部の人材を取り込んだ農業支援の枠組み作りという意味でも、大変意義深い取り組み。町長の見解を伺う。

答 農業の状況については理解するが、国、府や町も含め支援を行っている。町としては、草刈費用の



過酷な畦畔草刈り

5歳児健診の導入と 就学前支援の強化について

A 教育支援委員会ははじめ、対応している

問 5歳は就学準備性や社会性が育つ重要な時期であり、この段階で発達の特徴を把握し、必要な支援につなげることは就学後のつまづき防止や保護者の不安軽減につながる。本町では年中児発達サポート事業が行われているが、医師の関与

がない。国が5歳児健診の普及を進める中、本町における導入の必要性、健診結果を就学先へ引き継ぐ仕組み、保健と教育が連携した切れ目のない就学前支援について町の考えを問う。

答 国は2028年度までに実施率を100%に引き上げる目標を掲げているが、発達障害を専門的に診てもらえる専門機関が少ないことが問題である。町村会として京都府に強く改善を求めている。教育委員会と保健部門の連携は学校、保育所、保健担当、教育委員会



山根 朝子 議員

で組織する伊根町教育支援委員会を設置している。年長児、就学中の児童・生徒の教育の在り方を検討し、保護者とも相談しながらよりよい教育の在り方を検討し対応している。また、保育所と学校の保小連携もあり、各種行事の参加を含め、情報共有を行っている。近年、保育所ではアプローチカリキュラム、小学校ではスタートカリキュラムとして幼児期に育ってほしい姿を育みたい資質・能力をまとめ、小学校生活がスムーズにスタートできるように、お



元氣な5歳児

互いに協力しながら取り組んでいる。就学前支援強化については5歳児健診の実施・未実施にかかわらず、すでにやっている。



Q 新店舗ゴダイについて

A 長く営業が出来ることが最優先



上 辻 亨 議員

問 令和8年4月にゴダイがオープンする。町内には日用品店の店舗数も数件となり、本庄地区にあったAコープも数年前に閉店した。その後、JAの金融機関も閉店し、町民の方から「大変不便を感じている」と聞いている。新たにオープンするゴダイでは、日用品から生活用品、医薬品、調剤

薬局、町内で取れた野菜や鮮魚を販売されると聞いている。店舗内で加工場も出ると聞いているがどのよう加工場なのか。また町民の方が町外に出なくても町内であらゆる事が出来るように、店舗内にコンビニにあるようなキャッシュコーナーや、店舗外には精米所やコインランドリー、ク

リーニング店等を設置する
ような考えはないか。

答 来年4月にオープンするゴダイ伊根店は岩滝店より若干小ぶりの店舗となっており、衣料品を除く生活に必要な物資を町内で概ね手に入れる事が出来るようになる。加工場は惣菜加工場が設置され弁当、揚げ物などの惣菜各種が製造販売

される。鮮魚については鮮魚店がテナントとして入り製造販売が行われる。青果についても店舗内に調理加工場が整備される予定であるが現時点では入居店舗が決まっていない。精肉については峰山店で製造された物を搬送し販売すると伺っている。店舗内にキャッシュコーナーの要望はしているが、現在、検討中であり、店舗外の精米所やコインランドリー、クリーニング店はゴダイとしてはそのような施設の設置を計画していないが、仮に精米所やコインランドリー、クリーニング

店を出店したいという事業者が現れた場合には住民のニーズを含め協議していきたい。まずは開店されるゴダイ伊根店の経営が軌道に乗る、長く営業を続けて頂くことが最優先であり積極的に利用が広まる事を願う。



建設が進むゴダイ





伊根町教育委員会教育長賞

伊根町

伊根中学校二年 高橋利佳

都会はすぐ近くにコンビニやスーパーがあつて便利で、ビルもたくさん建っています。ビルがたくさんあると、働く場所も多いです。でも、私の住む伊根町にも、魅力がたくさんあります。

一つ目は、自然が豊かだということです。海は透明で、タコや小魚など、いろいろな魚をみることが出来ます。海藻もたくさん生えています。私の家の近くには海があるので、暑い夏の日にはよく泳ぎにいきます。泳いでいる時に、きれいなものを見つけられることもあつて、宝探しをしている気分になります。山は、季節によって見ることのできる景色が違います。春は、山桜が咲いていてきれいです。夏は木が生い茂り、あたり一面緑になります。秋になると紅葉し、葉っぱが黄色や赤になつて色彩が豊かです。そして冬は、冬は雪が積もり真っ白な世界になります。また、伊

根町は川の水がきれいなので、虫がたくさんいます。

二つ目は、魚や野菜などの食材の地産地消です。道端で野菜を売っているところもよく見かけます。地元でとれた野菜は新鮮で、美味しいです。また給食では、伊根でとれた野菜や魚、卵、みそなどを使った、「いねランチ」という給食もあります。「いねランチ」は、地元の食材をたくさん使ったメニューで、とてもおいしいです。

また最近では、観光客がどんどん増えていて、お店も増えています。カフェや宿など、最近できたところもあります。数年後に完成予定のお店もあります。便利になる一方で、ゴミの問題も心配です。ゴミが増えて美しい景色が失われるのは悲しいので、ゴミ箱を増やすなどの工夫をして、海や山などの自然、そして道路などがゴミが捨てられないようにすることが大切だと思います。

魅力もたくさんあるけれど、考えるべきこともあります。少子高齢化が進んでいて、子供が少ないことです。若い人が少ないと、後継者がいなくなつたり、伝統を守れなくなつたりします。小学校で「へしこ」について学ぶ中で、伝統がなくならないように、伝えていくことが大切だと感じました。だから、地域のイベントや行事などに参加し、伝統を伝えていきたいと思えます。そのためには、

住民を増やすことも大切だと思います。住民を増やすには、住める環境を整える必要があるなど、難しいこともあります。「伊根町に行つてみたい。」と思つてもらつたためにも、まずは伊根町を知つてもらつることが大切だと思います。

海や山などの自然がたくさんあつて、空気もきれいな伊根町。そして、海沿いに立ち並ぶ舟屋からは風情を感じることも出来ます。時間の流れがゆっくり感じられて、穏やかに過ごすことができるなど、魅力は他にもたくさんあります。そんな伊根町の魅力を私にできる方法で発信してみんなに知ってもらい、次の世代に繋いでいきたいです。魅力あふれる伊根町が、今後も変わらず、あり続けられるように。



「菅野の無形文化遺産」本庄小学校六年 上山翔大

広報編集委員

- 委員長 松山 義宗
- 委員長 長谷川 貴之
- 委員 山根 朝子
- 委員 濱野 茂樹

編集後記

あけましておめでとうございませう。心穏やかに新春をお迎えのことと思います。本年は、近年顕著になつている気候変動により農作物、水産物などの収量に影響が出ないことを願ひ、また、ゴダいのオープンにより町民の皆様の利便性や生活が豊かになることを心より願つております。

